

第3期
草津町まち・ひと・しごと創生
総合戦略

総合評価書
(下部組織による評価)

令和7年11月

目次

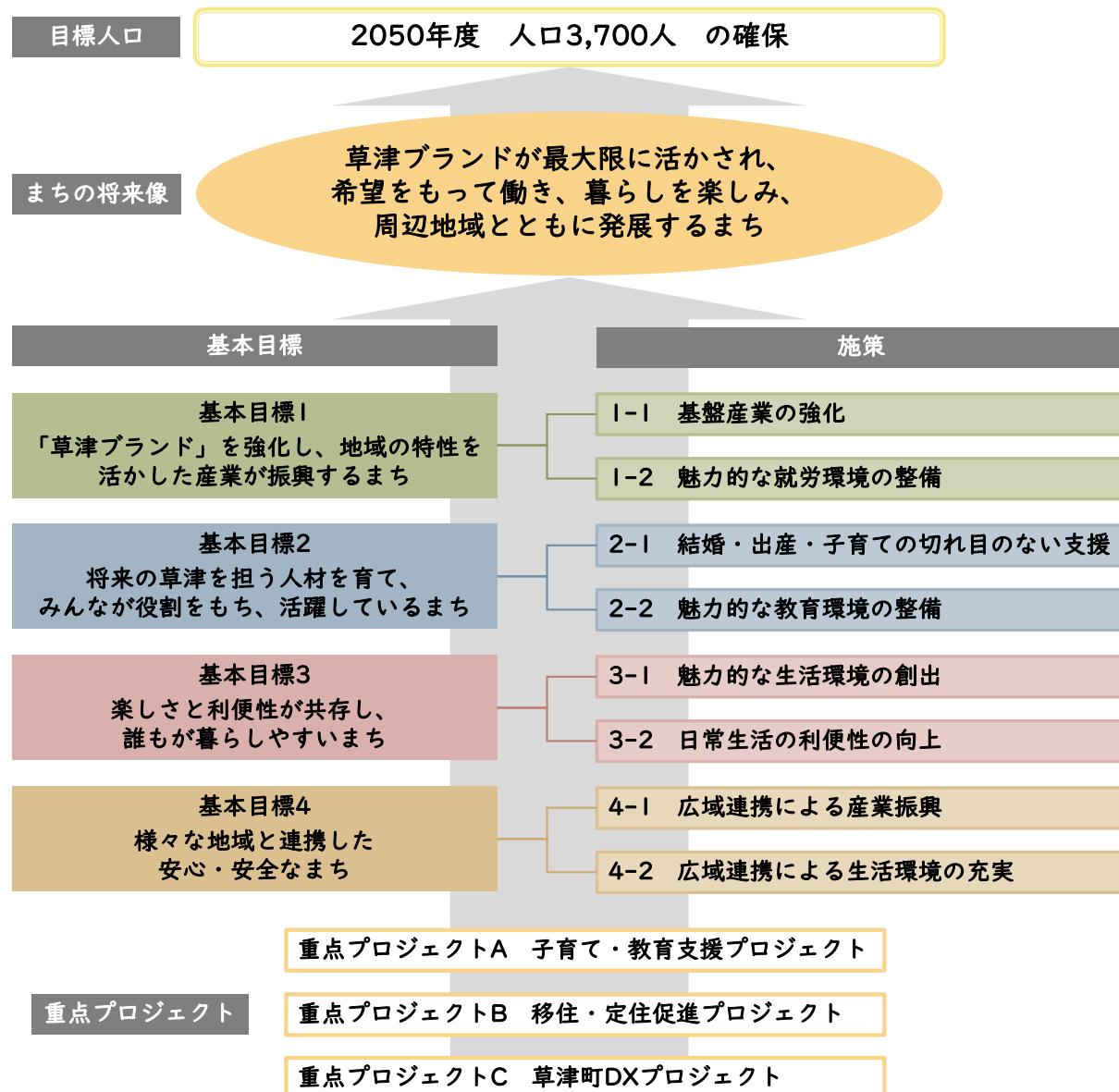
第3期草津町総合戦略の評価について	1
第3期草津町総合戦略の評価方法（行政による自己評価）	2
全体評価	4
基本目標1 「草津ブランド」を強化し、地域の特性を活かした産業が振興するまち.....	5
基本目標2 将来の草津を担う人材を育て、みんなが役割をもち、活躍しているまち.....	13
基本目標3 楽しさと利便性が共存し、誰もが暮らしやすいまち	18
基本目標4 様々な地域と連携した安心・安全なまち	30

第3期草津町総合戦略の評価について

1 草津町総合戦略とは・・・

「草津町総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、草津町がまち・ひと・しごと創生の実現を目指して令和7年3月に第3期として改定したものです。

「草津町人口ビジョン」に掲げた目標人口を実現するために、出生率の向上や移住定住人口の増加、交流人口増加に向けた5年間での基本目標や施策、具体的な取組を示す計画です。



2 評価の目的

- ① 各課で実施している取組を評価し、目標値の達成状況を把握すること
- ② 評価に応じて、次年度以降の取組に対する意識や方法を改善すること

第3期草津町総合戦略の評価方法（行政による自己評価）

1 定量評価と定性評価による総合評価

(1) 定量評価（数字での評価）

① 「基本目標」及び「重要行政評価指標（ＫＰＩ）」の評価方法

評価値を目標値・基準値と比較し、目標値・基準値を上回るかを評価しました。

以下に、評価手順を示します。

- ① 目標値に対する達成率により、「S」「A」「B」「C」「D」の5段階により区分

区分	目標値からの達成率	評価
S	100%を超える	目標達成
A	90%以上100%未満	目標達成に向け「順調」
B	80%以上90%未満	目標達成に向け「概ね順調」
C	70%以上80%未満	目標達成に向け「努力が必要」
D	70%未満	目標達成に向け「改善が必要」

- ② 基準値に対する増減により、「+」「-」による2段階により区分

区分	基準値からの達成状況
+	基準値を上回る
-	基準値を下回る

- ③ ①②を合わせたものを、7段階により区分し、総合評価

①	②	③	総合評価
S		S	目標値を達成
A	+	A +	目標達成に向け「順調」であり、基準値を上回る
B		B +	目標達成に向け「概ね順調」であり、基準値を上回る
C		C +	目標達成に向け「努力が必要」だが、基準値を上回る
D		D +	目標達成に向け「改善が必要」だが、基準値を上回る
A	-	A -	目標達成に向け「順調」だが、基準値を下回る
B		B -	目標達成に向け「概ね順調」だが、基準値を下回る
C		C -	目標達成に向け「努力が必要」であり、基準値を下回る
D		D -	目標達成に向け「改善が必要」であり、基準値を下回る

(2) 定性評価（内容での評価）

① 「具体的な取組」の評価方法

各担当課にヒアリングを行い、担当課としての自己評価を行いました。

以下に評価手順を示します。

- ① 各課で実施した取組について、第1評価～第3評価により、「a」「b」「c」「d」「-」の5段階により区分

第1評価	第2評価	第3評価	評価
取組を行った	取組が進んでいる	取組に対して効果を感じている・満足している	a
		取組に対して効果を感じていない・満足していない	b
取組を行っていない	取組が進んでいない		c
取組を行っていない	予定していたが出来なかった		d
	次年度以降に行う予定		-

- ② ①で区分した5段階の結果に応じて、「a=4点」「b=3点」「c=2点」「d=1点」「-=評価なし」の点数を算出

※「-=評価なし」は評価の対象としない

- ③ 評価対象の取組の合計（4点×評価対象取組数）と評価点の合計から「充実度・満足度」として算出

※一つの取組に対して、複数の課が実施している場合は、平均値を採用

全体評価

1 「数値目標」の評価

施策	No.	指標	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
基本目標1 「草津ブランド」を強化し、地域の特性を活かした産業が振興するまち	1	観光客数 [万人/年]	370	401	400	S (101%)	+	S
	2	就業者数 [人/年]	3,323 ^{※1}	※2027年度に評価	3,323			
基本目標2 将来の草津を担う人材を育て、みんなが役割をもち、活躍しているまち	3	合計特殊出生率 [%]	1.31 ^{※2}	※2028年度に評価	1.56 ^{※3}			
基本目標3 楽しさと利便性が共存し、誰もが暮らしやすいまち	4	草津町が住みやすいと感じている町民の割合 [%]	34.5	※2029年度に評価	45.0			
	5	社会増減数 [人/年]	+24	+55	+25	S (220%)	+	S
	6	草津町移住支援金事業での移住者 [組/年]	1	2	3	D (67%)	+	D+
基本目標4 様々な地域と連携した安心・安全なまち	7	(再掲) 草津町が住みやすいと感じている町民の割合 [%]	34.5	※2029年度に評価	45.0			

※1：2020年、※2：2018～2022年度、※3：2023～2027年度

基本目標 1

「草津ブランド」を強化し、地域の特性を活かした産業が振興するまち

1 数値目標の評価（定量評価）

No.	指標	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
1	観光客数 [万人/年]	370	401	400	S (101%)	+ (+31)	S

● 結果の考察

- ”100 年先を見据えた「まちづくり」を行ったことにより、湯畑、西の河原、裏草津地蔵、温泉門、スキー場エリア等どこで写真を取っても映える景色が生まれた。
- このことからも、各年代の客層はもちろん、特に若年層が多く訪れたことは、自ら SNS を活用し広く拡散したことと過去最高の入込数を達成できた大きな要因と捉えている。”

● 今後の見込み・予定

- 草津温泉の受け入れ可能な範囲に達していることからも、緩やかな増加を目指していく。
- また、完成のない草津温泉であり続ける為、今後も滝下地区の再開発を計画している。

No.	指標	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
2	就業者数 [人/年]	3,323※1	※2027年度に評価	3,323			

※1：2020年

● 結果の考察

- 2027年度に評価予定
(国勢調査2025の結果)

● 今後の見込み・予定

- 2027年度に評価予定
(国勢調査2025の結果)

基本目標1

「草津ブランド」を強化し、地域の特性を活かした産業が振興するまち

2 「重要業績評価指標（ＫＰＩ）」の評価（定量評価）

(1) 評価一覧表

施策	No.	重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
1-1 基盤産業の強化	1	街なみ環境整備事業補助交付金の交付件数【件/累計】	5※1	5	36	D (14%)	+ (+5)	D+
	2	草津温泉公式観光アプリのダウンロード数【件/累計】	2,016	3,788	3,000	S (126%)	+ (+1,772)	S
	3	草津温泉公式観光アプリの掲載会社数【社/累計】	10	15	20	C (75%)	+ (+5)	C+
	4	ふるさと納税の寄付件数【件/年】	11,300	12,300	11,500	S (107%)	+ (+1,000)	S
	5	ふるさと納税の寄付金額【億円/年】	9.0	11.0	9.1	S (122%)	+ (+2.0)	S
	6	企業版ふるさと納税の寄付金額【億円/年】	0.00	0.00	1.25	D (0%)	±0	D-
1-2 魅力的な就労環境の整備	7	就業者数（宿泊業・飲食サービス業）【人/年】	1,509※2	※2027年度に評価	1,509※3			
	8	流入就業者数【人/年】	907※4	※2027年度に評価	907※5			
	9	一人当たりの所得【千円/年】	2,607	2,851	2,900	A (98%)	+ (+244)	A+
	10	「はたらくさつ」HP閲覧回数【回/年】	38,176	44,309	40,000	S (111%)	+ (+6,133)	S
	11	「はたらくさつ」HPへの掲載会社数【社/累計】	50	63	60	S (105%)	+ (+13)	S
	12	「はたらくさつ」HPを活用して雇用された就労者数【人/年】	8	13	15	B (87%)	+ (+5)	B+
	13	町職員の女性の割合[%]	35.3	37.0	38.0※6	A (97%)	+ (+1.7)	A+

※1：2024年度、※2：2020年度、※3：2025年度、※4：2020年度、※5：2025年度、※6：2026年

(2) 評価結果に対する考察、今後の見込み・予定

施策	No.	重要業績指標（KPI）	評価	評価結果の考察	今後の見込み・予定
1-1	1	街なみ環境整備事業補助交付金の交付件数	D+	<ul style="list-style-type: none"> 目標値の6には及ばないものだったが、予算額に達した結果であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度には既に11件の申請があり、目標達成に向け事業周知と予算の確保に努めたい。
	2	草津温泉公式観光アプリのダウンロード数	S	<ul style="list-style-type: none"> 多くの観光客が訪れたこと、また訪れようと検討していることが要因。 特にスマートフォンのアプリを使いこなす世代である、若年層が飛躍的に増えていることも要因 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、観光客にとってメリットのある特典やお得な情報、使いやすさを追求しダウンロード数を伸ばしていきたい。 また、観光協会HPをはじめ、キャンドルイベントやフォトロケ、和傘の舞等の様々なイベントで、QRコードを活用したアンケートも実施しており、SNSも活用してPR活動を積極的に行う。
	3	草津温泉公式観光アプリの掲載会社数	C+	<ul style="list-style-type: none"> 観光入込客数が過去最高を更新したことが主な要因であり、アプリをダウンロードする観光客が増えたことが伺える。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、観光客にとってメリットのある特典やお得な情報、使いやすさを追求することでダウンロード数が伸びることで、参加事業者は増えて行くと期待している。 また、毎月の使用料や、事業者向けのシステムの扱いややすさや分析項目を追加することで、事業者の戦略を促すことを提案し参加事業者を増やしていく。
	4	ふるさと納税の寄付件数	S	<ul style="list-style-type: none"> 「町づくり」が評価され、各メディアへの露出、掲載も多くされたことにより観光入込客数が過去最高を更新したことが主な要因 ふるさと納税の返礼品を活用し、宿泊代を節約し飲食代やアクティビティを利用する寄附者が増えた。 それ以外外にも、1ランク上のプランや1ランク上の施設を利用する寄附者も増えていると分析している。 	<ul style="list-style-type: none"> 増えた要因は、まちづくりであり、草津温泉に来たいと思わせる景色が必要 今後も新たな施設がオープンするので、メディア、SNSを中心にプロモーション活動を行うことで寄附者を増やしていく。

基本目標1

「草津ブランド」を強化し、地域の特性を活かした産業が振興するまち

施策	No.	重要業績指標（KPI）	評価	評価結果の考察	今後の見込み・予定
1-2	5	ふるさと納税の寄付金額	S	<ul style="list-style-type: none"> 「町づくり」が評価され、各メディアへの露出、掲載も多くされたことにより観光入込客数が過去最高を更新したことが主な要因 ふるさと納税の返礼品を活用し、宿泊代を節約し飲食代やアクティビティを利用する寄附者が増えた。 それ以外外にも、1ランク上のプランや1ランク上の施設を利用する寄附者も増えていると分析している。 	<ul style="list-style-type: none"> 増えた要因は、まちづくりであり、草津温泉に来たいと思わせる景色が必要 今後も新たな施設がオープンするので、メディア、SNSを中心にプロモーション活動を行うことで寄附者を増やして行く。
	6	企業版ふるさと納税の寄付金額	D-	<ul style="list-style-type: none"> 営業力不足が否めず、なかなか寄附をいただくまでには至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度には条例の制定や民間による支援サービスを活用し、寄附実績につなげていく。
1-2	1	就業者数（宿泊業・飲食サービス業）	-	2027年以降に評価	
	2	流入就業者数	-	2027年以降に評価	
	3	一人当たりの所得	A+	<ul style="list-style-type: none"> 過去最高の入込客数を達成し、観光経済が活性化したことにより、所得が増加したと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、増加が見込まれる。
	4	「はたらくさつ」HP閲覧回数	S	<ul style="list-style-type: none"> 過去最高の入込数を達成したことからも、各施設では従業員を募集しており、その啓発コンテンツの一つとなっていることが要因 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、広告費をほとんどかけていないので、広告費を計上しPV数の増加を目指す
	5	「はたらくさつ」HPへの掲載会社数	S	<ul style="list-style-type: none"> 過去最高の入込数を達成したことからも、各施設では従業員を募集しており、その啓発コンテンツの一つとなっていることが要因 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、広告費をほとんどかけていないので、広告費を計上しPV数の増加を目指す
	6	「はたらくさつ」HPを活用して雇用された就労者数	B+	<ul style="list-style-type: none"> 過去最高の入込数を達成したことからも、各施設では従業員を募集しており、その啓発コンテンツの一つとなっていることが要因 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、広告費をほとんどかけていないので、広告費を計上しPV数の増加を目指す しかしながら、人口減少が進んでおり就労者を飛躍的に伸ばすことは難しいことからも、移住定住事業の充実を諮り労働人口の確保に努めたい

施策	No.	重要業績指標（KPI）	評価	評価結果の考察	今後の見込み・予定
	7	町職員の女性の割合	A+	<ul style="list-style-type: none"> 女性の活躍を推進するため、自治体として積極的に女性職員の雇用を促進しており、微増ながら女性職員数の増員が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健師や保育士などの専門職の確保について重点的に行ってきましたが、今後についても必要な部署へ必要数の配置を行う努力をしていく。

基本目標 1

「草津ブランド」を強化し、地域の特性を活かした産業が振興するまち

3 「具体的な取組」の評価（定性評価）

(1) 「具体的な取組」の実施状況、今後の展開・改善点

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
1-1	1	街なみ景観整備事業	企画創造	a	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標は達成しなかったが、町内において活用実績は増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 着実に街なみ環境整備が進んでいる。
	2	通行車両調査	観光	a	<ul style="list-style-type: none"> 観光客を対象とした観光アンケートを実施したことにより、宿泊と日帰り比率について係数の参考としている。 調査場所、湯畠、温泉門駐車場で行った。湯畠における調査では、GW期間、お盆期間、9月の連休、3月の連休及び各連休前の平日と参考となるサンプルが取得できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、閑散期の平日と休日、繁忙期の平日と休日における、バス乗降調査の実施を行いバス係数の参考資料としていく。
	3	ふるさと納税者拡大事業	観光	a	<ul style="list-style-type: none"> サイトの拡充（さとふる） 「町づくり」によって創られていく景色を多くのメディアに取り上げられたことにより、露出度が増えたことと併せて、特に若年層が自らSNSによる投稿を行ったことにより、若年層を中心に訪れる観光客が増えたことが大きな要因 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル感謝券の拡充を促進していくことで、転売防止及び寄附者（利用者）の利便性の向上を図りたい。 クラウドファンディングを活用して、滝下地区再開発プロジェクトを中心とした事業への寄付を募る。 Amazonが運営するポータルサイトに掲載予定
	4	「草津町LINE公式アカウント」の活用	総務	a	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年5月に開設した『草津町LINE公式アカウント』だが、少しずつではあるが着実に登録者が増え続けており、また、各課からの周知についても利用度が上がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な活用を各課に促すと共に、広報誌などの媒体を通じて啓発を継続していく。

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
	5	観光施設・駐車場・火山防災情報のライブ配信	企画創造	a	<ul style="list-style-type: none"> 当ライブカメラの総配信回数が1億回再生を超え、満足できる結果を得ている。企画創造課事務所内に、管理用PCを設置し、常時適正配信が行われているか確認に努めてきた。配信が止まってしまったカメラについては早急に対応を行い、概ね2週間以内に再配信に努めた。(物理的破損に伴う、長納期を除く) 	<ul style="list-style-type: none"> 同様の対応を行い、安定配信に努めたい。ユーザーを飽きさせないため、新コンテンツのライブカメラ設置等の検討を進めていきたい。
	6	観光案内看板のデジタルサイネージ化の検討	観光	-	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度までに案内看板の必要性、効率化を行う為に整備する箇所を選定する資料を作成して行きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 案内看板の必要性、効率化を行う為に整備する箇所を選定するための資料を作成し事業化に繋げて行きたい。
	7	観光プラットフォームアプリの活用	観光	a	<ul style="list-style-type: none"> アプリのダウンロード数は目標値に達しているが、伸びていける要素が十分あるので、アプリの情報提供を観光協会HPやSNSを活用しPRに努めて行く。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会HP等で積極的に啓発するとともに、観光客が周遊して登録している事業者や湯畠や各観光施設に周遊出来るような情報提供、更に登録者にメリットがあるクーポン提供等の対策を行いダウンロード数の増加を促していきたい。
	8	電子版「草津温泉感謝券」の活用	観光	b	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年10月現在、事業者募集の段階であり、11月の開始を予定している。現在導入に向けて進めている段階 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、特設サイトのみデジタル感謝券を導入するので、他のサイトでも返礼品として活用・運用が出来るような仕組みを検討して行く。 観光プラットホームを活用し寄附の増加を促すとともに参加事業者を募っていきたい。
	9	町公式ホームページの改修	企画創造	a	<ul style="list-style-type: none"> ホームページリニューアル後、閲覧数が130.6%（9月末時点）の増加。近代的で、見やすいデザインとなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな記事の掲載や更新を定期的に行い、HPのブラッシュアップを進めていきたい。

基本目標1

「草津ブランド」を強化し、地域の特性を活かした産業が振興するまち

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
	10	渋滞情報の提供	企画創造	a	<ul style="list-style-type: none"> ゴールデンウィーク及びお盆の連休用に駐車場マップの紙媒体及びWEB媒体の物を作成し、町HP等で周知いたしました。紙媒体はGW3,000枚、お盆5,000枚を作成し、すべて配布しきる結果となり、盆休みにおいては、中心部の渋滞緩和に繋がりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 本件DX化を検討し、駐車場へのAIカメラの設置（混雑状況の把握）及びマップへの落とし込みを検討していきたい。
1-2	1	就労環境向上のための連携	観光	a	<ul style="list-style-type: none"> DMO人材育成部会では、合同入社式、若手社員を中心に募り実施する懇親会等の若年層が仲間を作りやすい環境を整えており、地元出身者や各施設の参加者も増えているからも、定住に繋がっていると推測している。 	<ul style="list-style-type: none"> 更に参加者が増えるように、各事業所への啓発を行っていく。
	2	人材育成強化支援を行うDMO戦略	企画創造	a	<ul style="list-style-type: none"> 観光教育動画の制作や草津町で働く従業員等へのアンケート調査、人材の確保、定着、育成につなげる各種事業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> DMOの進める事業等が進められるよう自治体としてできることをフォローアップしていく。
	3	DMO草津温泉観光協会人材育成部会との関係性強化	企画創造	a	<ul style="list-style-type: none"> DMOの人材育成部会への出席や各種事業に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> DMOと協働し、様々な事業等を進めていく。
	4	観光事業求人情報サイト「はたらくさつ」の運営	観光	a	<ul style="list-style-type: none"> 新規掲載企業も増えており、就労支援に繋がっている。また、企業側も積極的に活用していることが伺える。 	<ul style="list-style-type: none"> HPの運用では、大きな広告は行っておらず、今後、広告を掲載することでPV数の増加、終了者数の増加を目指していく。
	5	就労サポート	企画創造	-	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度の実施に向け、検討を進めたい 	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度の実施に向け、検討を進めたい
	6	外国人へのヒアリング調査	住民	-	<ul style="list-style-type: none"> 来年度以降、検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度以降、検討する。
	7	女性活躍推進法に基づく「草津町特定事業主行動計画」の更新	総務	a	<ul style="list-style-type: none"> 女性の活躍を推進するため、自治体として積極的に女性職員の雇用を促進しており、微増ながら女性職員数の増員が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健師や保育士などの専門職の確保について重点的に行ってきましたが、今後についても必要な部署へ必要数の配置を行う努力をしていく。

基本目標2

将来の草津を担う人材を育て、みんなが役割をもち、活躍しているまち

1 数値目標の評価（定量評価）

No.	指標	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
1	合計特殊出生率 [%]	1.31※1	※2028年度に評価	1.56※2			

● 結果の考察

- 2028年度に評価予定

● 今後の見込み・予定

- 2028年度に評価予定

2 「重要業績評価指標（KPI）」の評価（定量評価）

(1) 評価一覧表

施策	No.	重要業績評価指標（KPI）	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
2-1 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援	1	妊娠のための支援金の給付件数〔回/年〕	30	33	30	S (110%)	+(+3)	S
	2	出産祝い金の支給件数〔件/年〕	24	23	30	C (77%)	-(-1)	C-
2-2 魅力的な教育環境の整備	3	子育て支援事業の継続件数〔件/年〕	9	9	9	S (100%)	±0	S

基本目標2

将来の草津を担う人材を育て、みんなが役割をもち、活躍しているまち

(2) 評価結果に対する考察、今後の見込み・予定

施策	No.	重要業績指標（KPI）	評価	評価結果の考察	今後の見込み・予定
2-1	1	妊婦のための支援金の給付件数	S	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠の届出を行った妊婦及びその家族全数に対し、保健師による面談が実施できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も保健師による全数の面談が丁寧かつ効果的に継続できるよう努める。
	2	出産祝い金の支給件数	C-	<ul style="list-style-type: none"> 2024年中の出産に対して、父または母にもれなく支給したが、この件数については、努力ではどうにもならない要素が含まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 未定
2-2	1	子育て支援事業の継続件数	S	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの事業については、予算措置がされており草津町ならではの温もりのあるきめ細やかな教育行政を目指し、未来の草津人を育成するため、子供の安心安全な環境づくりなど推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の見込みについては、事業の継続を図るとともに子育て支援事業の拡充や主要施策を継続する。

3 「具体的な取組」の評価（定性評価）

(1) 「具体的な取組」の実施状況、今後の展開・改善点

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
2-1	1	認定こども園における保育サービスの充実	こどもみらい	a	<ul style="list-style-type: none"> 各取り組みにより一定の成果は上げられている。保護者への負担軽減策また仕事と子育ての両立にむけた施策について、保護者アンケートまた利用実績の動向等注視し引き続き、保育サービスの質の向上に向けて継続的な改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記参照
	2	家庭子育て及び放課後児童支援	こどもみらい	a	<ul style="list-style-type: none"> 放課後の健全育成、生活支援が目的としている児童室において看護できない保護者への支援と児童が安心安全な環境づくりと成果はあげられる。 文化団体との交流や避難訓練においても社会性育成や防災意識向上が確認された。支援員の質の向上に努め環境整備とあわせ継続的に改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記参照
	3	「草津町子育てガイドブック」の周知	教育委員会	b	<ul style="list-style-type: none"> 毎年継続的に更新を行い新しい情報の提供や案内など行っているが、その効果については検証していないのが現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校、中学校への進学に伴い、学習内容の専門性や教科学習の比重が増すため。
	4	子育て支援金制度	住民	a	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代への応援として支給することにより、次代を担う児童の健全な育成と福祉の増進が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続することにより、子育て世代への更なる福祉増進を図る。
	5	草津町子ども家庭センターの設置	こどもみらい	a	<ul style="list-style-type: none"> 町長施策のひとつとして、児童福祉施策を推進するため包括的かつ計画的な支援を目的とした「こども家庭センター」設置にむけ令和7年12月1日開設にむけ取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「こども家庭センター」設置により母子保健事業、児童福祉事業の窓口が一元化され、各種様々な子育て支援が図られる。

基本目標2

将来の草津を担う人材を育て、みんなが役割をもち、活躍しているまち

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
	6	産科病院に関する検討	住民	d	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的な問題であることから、町独自での検討は困難な状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の観点から、産科医の存続は、人口減少に伴い難しい状況である模様。 ・引き続き、群馬県及び他町村や西吾妻福祉病院との情報交換を継続していく。
2-2	1	町と教育委員会が一体となつて行う支援	教育委員会	a	<ul style="list-style-type: none"> ・概要にある様々な推薦取り組みについては100%の実施率である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後についても、目標を達成しており今後衰退しないよう継続実施していく。
	2	草津町育ちと学びを支えるネットワーク事業	教育委員会 健康推進	a a	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児検診など幼児期の推進から引き続き5歳児検診とつなぎ、義務教育課程までの支援を推進するとともに各種相談など専門家との連携を図り事業の実施がおこが行えた。 ・教育委員会と連携し、精神科医及び公認心理師といった専門家チームとの事業提携により、効果的に事業を実施することができていると考える。 ・健康推進課では子どもたちの個々の発達特性を把握することで保護者の育児不安等に関する相談支援や子どもに関わる専門職（教職員・保育教諭）へのかかわり方の支援について継続的に実施し、乳幼児期から義務教育終了後、その先の自立を見据えた相談支援を継続することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後においても、育ちと学びの専門家チームと連携を図り多用途のニーズに対応するよう継続的に展開する。 ・社会資源が限られる当町において、専門家チームとの事業提携は継続する必要がある。 ・また、こども家庭センター事業と併せ、合同ケース会議や支援会議等を定期的に実施し、関係機関との連携の強化に努める必要がある。
	3	草津町橋渡しへビジョン	教育委員会	a	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園から中学校までの間、横断的に統一した教師により教育を実施することで教育の向上過程を見据えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校への進学に伴い、学習内容の専門性や教科学習の比重が増すため、学習面でつまづく子供が増える傾向があり指導方法を工夫する必要がある。

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
	4	人権教育の推進と子どもたちを守る安全安心対策事業	教育委員会	b	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育など年2回に実施。また青少年の健全育成については、夜間の街灯パトロールなど実施したが時代にそぐわない活動であった。放課後こども教室においては、子どもの居場所を鑑み実施人気の活動である。 	<ul style="list-style-type: none"> 街灯パトロールに対してはその活動を形を変えて実施していく必要がある。
	5	デジタル教科書の活用			<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学びの促進、個別適正化された学びの実現、情報活用能力の育成、探究学習への発展の効果を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校のデジタル教科書は、個別最適な学習の促進、主体的・対話的で深い学びの実践、そして動画やドリルなどのデジタル教科の活用による理解促進を進め未来の人材育成のために展開をする。
	6	連絡網アプリの活用			<ul style="list-style-type: none"> 連絡アプリは、災害時などの緊急に保護者への速やかな情報伝達において、非常に高い効果を発揮します。従来の電話連絡網や一斉メールに比べ、即時性や確実性が大きく向上し、園や学校と家庭の連携をスムーズに行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡アプリを活用した緊急時の保護者への情報共有は、今後の技術やニーズに対応できるよう展開を図る。

基本目標3

楽しさと利便性が共存し、誰もが暮らしやすいまち

基本目標3 楽しさと利便性が共存し、誰もが暮らしやすいまち

1 数値目標の評価（定量評価）

No.	指標	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
1	草津町が住みやすいと感じている町民の割合 [%]	34.5	※2029年度に評価	45.0			

● 結果の考察

- 2029年度に評価予定

● 今後の見込み・予定

- 2029年度に評価予定

No.	指標	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
2	社会増減数 [人/年]	+24	+55	+25	S (220%)	+ (+31)	S

● 結果の考察

- 2023年度より倍増となった。
- 草津町の知名度が後押しした結果によるものと推測される。

● 今後の見込み・予定

- 転出の抑制の取組を強化したい。

No.	指標	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
3	草津町移住支援金事業での移住者 [組/年]	1	2	3	D (67%)	+ (+1)	D+

● 結果の考察

- この事業制度を活用するためには、受入企業等の縛りがあるため、目標達成には至らなかつた。

● 今後の見込み・予定

- 移住コーディネータ設置による受入体制の整備を進めていく。

2 「重要業績評価指標（KPI）」の評価（定量評価）

(1) 評価一覧表

施策	No.	重要業績評価指標（KPI）	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
3-1 魅力的な生活環境 の創出	1	マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利用件数〔件/年〕	145	537	400	S (134%)	+ (+392)	S
	2	町公式HPの閲覧回数〔回/年〕	320,122	396,343	330,000	S (120%)	+ (+76,221)	S
	3	草津町公式LINEアカウントの登録者数〔人/累計〕	969	1,011	1,500	D (67%)	+ (+42)	D+
	4	緊急通報装置の設置世帯数〔世帯/累計〕	42	42	60	C (70%)	±0	C+
	5	人感センサーの設置世帯数〔世帯/累計〕	6	5	12	D (42%)	- (-1)	D-
	6	白根火山噴火対策訓練の実施回数〔回/年〕	1	1	1	S (100%)	±0	S
	7	避難所開設訓練の実施回数〔回/年〕	-	0	1	D (0%)	±0	D-
	8	翻訳ツールの導入した課数〔課/累計〕	6	0	8	D (0%)	- (-6)	D-
	9	「やさしい日本語」に対応した書類を導入した課数〔課/累計〕	2	0	8	D (0%)	- (-2)	D-
	10	空き家除却費の交付件数〔件/年〕	10	0	10	D (0%)	- (-10)	D-
	11	LED防犯灯の設置数〔灯/累計〕	358	363	541	D (67%)	+ (+5)	D+
	12	25歳～49歳の移住者数〔人/年〕	-	93	10	S (930%)	+ (+93)	S
	13	移住定住ワントップ相談窓口の相談回数〔件/年〕	-	0	1	D (0%)	±0	D-
3-2 日常生活の利便性 の向上	14	(再掲)草津町公式LINEアカウントの登録者数〔人/累計〕	969	1,011	1,500	D (67%)	+ (+42)	D+
	15	「新ごみ処理施設」関連事業の協議会等の開催数〔回/年〕	-	10	3	S (333%)	+ (+10)	S

基本目標3

楽しさと利便性が共存し、誰もが暮らしやすいまち

(2) 評価結果に対する考察、今後の見込み・予定

施策	No.	重要業績指標（KPI）	評価	評価結果の考察	今後の見込み・予定
3-1	1	マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利用件数	S	・ 土日祝日及び時間外でも取得できることなどが周知されたものと推察される。	・ 2025年10月に、コンビニ交付手数料を100円減額し、200円としたため、更なる利用件数の伸びが期待される。
	2	町公式HPの閲覧回数	S	・ 公式HPを見やすく情報のとりやすい形へリニューアルしたことによる達成。	・ 新たな記事の掲載や更新を定期的に行い、HPのブラッシュアップを進めていきたい。
	3	草津町公式LINEアカウントの登録者数	D+	・ 令和6年5月に開設した『草津町LINE公式アカウント』だが、少しずつではあるが着実に登録者が増え続けており、また、各課からの周知についても利用度が上がっている。	・ 積極的な活用を各課に促すと共に、広報誌などの媒体を通じて啓発を継続していく。
	4	緊急通報装置の設置世帯数	C+	・ 高齢者のスマートフォンの普及率があがり、必要性を感じないという方が多く見受けられる。	・ 目標値を50と設定し、引き続き事業周知に努める。
	5	人感センサーの設置世帯数	D-	・ 高齢者のスマートフォンの普及率があがり、必要性を感じないという方が多く見受けられる。	・ 目標値を8と設定し、引き続き事業周知に努める。
	6	白根火山噴火対策訓練の実施回数	S	・ 令和6年度は職員約20名が参加し、現地(草津白根山)における中央登山道を限定開通した場合の避難訓練を実施することができた。	・ 噴火を想定した避難訓練について毎年度実施していきたい。
	7	避難所開設訓練の実施回数	D-	・ 計画及び予定なし	・ 群馬避難所運営ガイドラインによる避難所運営チーム避難所運営ガイドラインに基づいて、令和8年度実施予定
	8	翻訳ツールの導入した課数	D+	・ 現状、ツールを使用する機会がないため、導入に至っていない、	・ 今後の動向を見ながら必要に応じ検討していく。
	9	「やさしい日本語」に対応した書類を導入した課数	D-	・ 現状、ツールを使用する機会がないため、導入に至っていない、	・ 今後の動向を見ながら必要に応じ検討していく。

施策	No.	重要業績指標（KPI）	評価	評価結果の考察	今後の見込み・予定
3-1	10	空き家除却費の交付件数	D-	・町民への周知不足が一つの要因と考えられる	・今後は他の周知方法を検討
	11	LED 防犯灯の設置数	D+	・老朽化により故障した電灯の LED 化を行っている為	・今後も故障した電灯の LED 化を進める
	12	25 歳～49 歳の移住者数	S	・草津町の知名度が後押しした結果によるものと推測される。	・目標値の見直しを行う必要がある。
	13	移住定住ワンストップ相談窓口の相談回数	D-	・ワンストップ相談窓口設置未達。	・令和 8 年度の実施に向け、検討を進める。
3-2	1	(再掲) 草津町公式 LINE アカウントの登録者数	D+	・令和 6 年 5 月に開設した『草津町 LINE 公式アカウント』だが、少しずつではあるが着実に登録者が増え続けており、また、各課からの周知についても利用度が上がっている。	・積極的な活用を各課に促すと共に、広報誌などの媒体を通じて啓発を継続していく。
	2	「新ごみ処理施設」関連事業の協議会等の開催数	S	・新ごみ処理施設建設に向け、協議会を構成町村の担当課長会議に名称を変更し課長（所長）会議等を実施した。また、施設整備検討委員会や副町村長会議等も実施した。	・新ごみ処理施設の建設に向けた担当課長会議等を、2025 年度には本格的に開催予定。

基本目標3

楽しさと利便性が共存し、誰もが暮らしやすいまち

3 「具体的な取組」の評価

(1) 「具体的な取組」の実施状況、今後の展開・改善点

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
3-1	1	地域コミュニティ活動の支援	総務	a	・各行政区における地域コミュニティ支援のほか、福祉部局を中心に高齢者サロンの経費を支援することで高齢者の活力ある生活を下支えすることができた。	・高齢者サロンへの支援にほかに、老人クラブの各支部への活動費支援などを検討していく。
					・生活支援体制整備事業（協議体）において話し合いが行われ、一部の地域でサロン活動が実施されている。	・現在一部の地域（区）のみでのサロン活動なので、他の地域（区）にも発展できるよう話し合いを継続していく
	2	緊急通報装置貸与事業（あんしん電話）	福祉	b	・民生委員児童委員等の関係者を通じ、周知協力を行っているが思うような効果を得られていない。	・今後も関係者への周知協力をを行いながら、町広報誌や町公式HPへの掲載等を行い事業周知を行う。
	3	防犯灯整備維持事業	土木	a	・LED電灯は増えている。	・老朽化した電灯のLED化を進める。
	4	食品ロス削減対策・リサイクル率向上への取組	生活環境	b	・思うような周知ができていない	・焼却処理を行っていた、古着や古布について町民より無料回収を行い再生利用に向けた事業を準備中であり、今年度中に事業化を実施
	5	空き家、空き室の活用促進	企画創造	—	・今後方針について、検討を進めたい。	・今後方針について、検討したい。
			土木	—	・未定	・未定
6	移住定住ワンストップ相談窓口（移住コーディネーター）の設置	企画創造	—		・令和8年度の実施に向け、検討を進めたい	・令和8年度の実施に向け、検討を進めたい
					・県の要綱における制限が厳しい状況にあり、断らざるを得ないケースが多数。	・今後、関係人口の定義の見直しを行い、給付対象者を増やす検討を進めたい。
7	草津町移住支援金事業	企画創造	b			

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
	8	各種移住相談会への参画	企画創造	a	・各種、イベントへの参加。21組28名の相談を受ける。	・このような地道な活動を続けていき、移住を前向きに検討されている方の取り囲みに努めたい。
	9	草津町移住定住ガイドブック作成・ブラッシュアップ	企画創造	-	・内容精査の上、順次実施。	・内容精査の上、順次実施。
	10	地域の情報発信と地域間交流	企画創造	c	・現在は観光政策に係るものが多くなっているが、移住を目的としたプレスリリースを進めていきたい。	・紙媒体でのリリースは難しいことから、動画データ等の作成を検討していきたい。
	11	空き家バンクの運営	企画創造 土木 税務	- - -	・未実施 ・未実施 ・実施する状況に応じて、府内手続きの検討を行う。	・土木課と協働し、取組について再考が必要。 ・空き家バンクの運営という取組としたが、現状においては災害時等に空き家による倒壊等の被害を減少させることを目指し、空き家解体に係る費用について補助を行っている。 ・実施する状況に応じて、府内手続きの検討を行う。
	12	草津町お試し暮らし住宅の設置	企画創造 税務	- -	・令和8年度の実施に向け、検討を進めたい ・企画創造課で検討を進める。	・令和8年度の実施に向け、検討を進めたい ・企画創造課で検討を進める。
	13	温泉熱を活用した発電事業への取組	温泉	a	・温泉熱発電設備導入可能性調査を行った。	・導入可能であるとの報告を受けた。
	14		観光	c	・検討会を実施していない。	・現在、個々の公園整備計画を策定しており、検討会開催に向けて進めて行く。

基本目標3

楽しさと利便性が共存し、誰もが暮らしやすいまち

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
		都市公園・ポケットパーク整備に向けた検討	企画創造 教育委員会 総務	— c c	<ul style="list-style-type: none"> 未実施 ・都市公園やポケットパークの整備に関しては、関係各課との検討が行われていない。 ・現在の主管課からの要請がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民が必要とする公園、都市計画の観点からの公園等、主管課である観光課と情報共有を図る。 ・左記のことを実施するには主担当課により開催する必要がある。 ・現在の主管課（観光課）の要請を待つ。
15		「草津町地域防災計画」の見直し	総務	—	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月に改訂した現行計画を令和9年度以降に更新予定 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月に改訂した現行計画を令和9年度以降に更新予定
16		「草津町国土強靭化地域計画」等の更新	総務	—	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月に策定した現行計画を令和9年度以降に更新予定 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月に策定した現行計画を令和9年度以降に更新予定
17		避難訓練の実施	総務	a	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度は職員約20名が参加し、現地（草津白根山）における中央登山道を限定開通した場合の避難訓練を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 噴火を想定した避難訓練について毎年度実施していきたい。
18		新下水処理場構築に向けた事業の推進	上下水道	a	<ul style="list-style-type: none"> 事業は遅延し、完全移行には遅れがでるが、既存の老朽化施設の中の管理汚泥棟は新施設に移行しており、着実に進める上で時間はかかるが新施設に移行できる。 	<ul style="list-style-type: none"> まだ長期間なのでスケジュール間で短縮できる部分を考えたりして1日でも早い完成を目指す。
19		「上下水道耐震化計画」の策定	上下水道	b	<ul style="list-style-type: none"> 現在「上下水道耐震化計画」を策定した段階であり管路の更新等については、今後実施していく予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道共に今後計画的に更新を進めていければと思っている。
20		(再掲) 外国人へのヒアリング調査				1-2-6 参照
21			観光	b	<ul style="list-style-type: none"> 観光課窓口ではなく、税務課窓口で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 広く広報が出来るように広報誌等で啓発を進めて行く。

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
外国人に対する窓口業務の改善			温泉	d	・ 翻訳機の内容の検討（語学内容）使用したい場合には、税務課等より借りる。	・ 今後の動向をみながら必要に応じ検討していく。
			企画創造	-	・ 現状、外国人の対応の機会が、導入には至っていない。	・ 今後の動向をみながら必要に応じ検討していく。
			教育委員会	a	・ 外国人児童生徒への対応は、日本語指導、学校生活への適応、心理面のケアなど多岐にわたり JSV（日本語指導教諭）や学習支援員などが対応を行っている。	・ 今後においての専門的な教員や学習支援員の人材確保に努め継続展開を図る。
			健康推進	b	・ 「やさしい日本語」「伝わりやすいようルビを付す」等の取り組みによる書類送付に心がけている。また、翻訳ツールの導入を進め、事業で活用することができている。 ・ 効果に対する満足度については、必要最小限の情報提供は可能であるが、双方の気持ちや意図に対しての意思の疎通が困難であり、ツールで解決できないことに課題を感じているため。	・ できる限りツールを活用し、相手に伝わりやすい表現での業務に心がけたい。 ・ また、伝わり方の評価ができるような支援方法も検討する必要がある（通訳の導入検討など）。
			住民	a	・ 国民健康保険制度をわかりやすく伝えるための簡単な日本語を配した冊子を用意し、窓口での説明等に活用した。 ・ また、翻訳機（ポケトーク）により、丁寧な窓口対応を心がけたことにより、円滑な窓口業務が図られた。	・ 多言語化はその対応に苦慮するが、翻訳機等を活用し、更なる窓口業務の改善に努める。
			上下水道	d	・ 他課で導入する事になれば一緒に導入になると思う。	・ 他課で導入する事になれば一緒に導入になると思う。
			生活環境	b	・ ごみ分別のチラシ等について、外国人の言語対応が難しい。	・ 外国人における対応言語を把握し、チラシ等の作成に活用する。

基本目標3

楽しさと利便性が共存し、誰もが暮らしやすいまち

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
22		草津町 LINE 公式アカウントの活用	税務	b	<ul style="list-style-type: none"> 草津町ホームページ上で「やさしい日本語」の該当項目への誘導に工夫が必要だと感じている。その理由は掲載当初はフォーマットを使用する外国人が少なかったため。 外国人のためのフォーマットを掲載しても、掲載タイトルが日本語では必要としている人の目にとまりにくいうことが原因だと考え、改善のためアップロードしたデータタイトルの冒頭に【For foreign residents・やさしい日本語】と付したところ徐々に使用する申請者が増え始めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 1つ目は必要とする方の目にとまりやすい(または検索しやすい)方法を検討する。 2つ目は外国人のみならず、ハンディキャップをお持ちの方にも活用いただけるような汎用性の高いものにするため、今後も改善、改良を検討したい。
					<ul style="list-style-type: none"> 窓口業務にかかる改善は庁舎内において進捗があったようには見受けられない。 ただし、町公式ホームページの主管課（企画創造課）によって見やすいホームページへの改善が着手された。 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口業務の改善は関係課の積極的な取り組みに期待する。 防災主管課である当課（総務課）としては、ハザードマップの外国語（五か国）版の作成に着手する。
			土木	-	<ul style="list-style-type: none"> 未実施 	未定
			福祉	d	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で、福祉課業務における外国人への対応があまりなかった為に進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、福祉課で担当している給付金事業に関しては、外国人の多数おり今後においては対応が必要であることから、周知方法などを考えて行きたい
					<ul style="list-style-type: none"> 住民情報をいち早くお知らせが出来ており、有効なツールとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌でも掲載され広く周知されていているが、更に各業界に促し登録者数を伸ばして行くことで活用されていくことが期待される。
			温泉	a	<ul style="list-style-type: none"> 漏湯や断水等のお知らせとして活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に活用し広く周知できるよう進めていく。

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
			企画創造	-	・積極的に活用し、広く周知できるよう進めていく。	・各所管課との情報共有を図り、正しい情報発信に努めていく。
			教育委員会	b	・当局としては、幅広く広報を行うため活用をしているが公式ラインアカウント登録数が町内約25%であることから周知が不十分である。	・町民に対し草津町ラインアカウント登録を推奨の展開を図る。
			こどもみらい	-	・次年度以降検討。	・次年度以降検討。
			健康推進	a	・町の保健事業の周知において、特に重要なと思われる事業を優先して周知できた。更に活用を進めていきたい。	・LINEでの周知に対する町民の反応を確認し、効果検証を行う必要があると考える。
			住民	-	・未実施	・必要に応じて検討する。
			上下水道	a	・漏水時の断水のお知らせなど周知が出来て助かっている。	・積極的に活用し広く周知できるよう進めていく。
			生活環境	a	・通知に対して問い合わせがあった。	・積極的な活用を行い、周知を行う。
			税務	a	・情報の簡潔さが欠如している。読み手に一回で伝わるような文章に改良する必要があるように思われる。	・情報を必要とする人の目にとまりやすいよう簡潔な文章で発信する必要を感じる。
			総務	a	・令和6年5月に開設した『草津町LINE公式アカウント』だが、少しずつではあるが着実に登録者が増え続けており、また、各課からの周知についても利用度が上がっている。	・積極的な活用を各課に促すと共に、広報誌などの媒体を通じて啓発を継続していく。
			土木	a	・志賀草津道路の通行止め等の周知	・今後も同様に活用
			福祉	a	・福祉課業務における住民への周知などに活用	・今後も必要に応じて広報周知する際に活用を継続していく

基本目標3

楽しさと利便性が共存し、誰もが暮らしやすいまち

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
	23	住民サービスの強化	住民	a	・令和7年度の利用率は、対前年同期（10月1日現在）で142%と上昇しており、令和5年12月導入以降、利用者は年々増加傾向にある。	・令和7年10月1日から、コンビニ交付の手数料を300円から200円に減額した。これにより、該当証明を取得する際のコンビニ交付利用者数及び利便性等が更に向上する効果が期待される。
	24				・現在、138件のフォームが完成され、実際に8,100を超える回答数を得るなど、広く活用を行っている。	・今後も、ユーザー目線で使いやすいサービスとしてLOGOフォームを利活用したい。
	25	(再掲) 町公式HPの改修			1-1-9 参照	
	26	(再掲) 観光施設・駐車場・火山防災情報のライブ配信			1-1-5 参照	
	27	移住定住ホームページの更新	企画創造	c	・行政側情報の更新ができていない。	・今後は、移住コーディネーターの役割として、本事業を推進したい。
	1	町内巡回バスの運行	福祉	b	・民生委員児童委員等の関係者を通じ、周知協力をしているが思うような効果を得られていない。	・今後も関係者への周知協力をを行いながら、町広報誌や町公式HPへの掲載等を行い、事業周知を行う。
	2	公共交通の利便性の向上	福祉	b	・平成23年度のダイヤ改正以降、改正を行っていない。これについては利用者のニーズはある程度、フォローできていると思われるが、他の公共交通事業者との連携がとられていない実情がある。	・他の公共交通事業者と協議を行い、アクセスを向上させる。
	3				企画創造	・渋川・吾妻地域在来線活性化協議会と広域的な活動を実施。
		「新ごみ処理施設」関連事業	生活環境	b	・吾妻施設組合において、構成町村等の課長（所長）会議を行い分別等について協議中。	・課長（所長）会議等の結果により、公表できるところから町民に向けて周知を行う。

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
	4	(再掲) 草津町 LINE 公式アカウント」の活用			3-1-22 参照	
	5	インフラ情報のオープンデータ化	企画創造	-	・未実施	・都市計画道路の変更に伴い、オープンデータの更新を実施
	6	(再掲) 観光施設・駐車場・火山防災情報のライブ配信			1-1-5 参照	
	7	(再掲) 渋滞情報の提供			1-1-10 参照	
	8	検針業務の効率化	上下水道 温泉	d d	・現在は検針員の方々で、毎月の検針業務はまかなえている状況であり、他市町村の状況を見てからでも良いと感じている。 ・以前、利用・検討したことがあるが駄目だったとの情報。再検討が必要かと。	・現在は検針員の方々で、毎月の検針業務はまかなえている状況であり、他市町村の状況を見てからでも良いと感じている。 ・
	9	水道及び温泉・温水の漏水漏湯情報の電子報告化	上下水道 温泉	d d	・他の市町村での実績把握などを見ながら検討していきたい。 ・現状では、温泉・温水設備のコンピューターによる一括管理により、異常が確認されると職員に警報が送信される。	・検針員のやりがいもあると思うので、検針員の人数不足等が生じるなどで導入の検討をしていく。 ・

基本目標4

様々な地域と連携した安心・安全なまち

基本目標4 様々な地域と連携した安心・安全なまち

1 数値目標の評価（定量評価）

No.	指標	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
1	(再掲) 草津町が住みやすいと感じている町民の割合 [%]	34.5	※2029年度に評価	45.0			

● 結果の考察

- 2029年度に評価予定

● 今後の見込み・予定

- 2029年度に評価予定

2 重要業績評価指標（KPI）の評価（定量評価）

（1）評価一覧表

施策	No.	重要業績評価指標（KPI）	基準値 2023年度	評価値 2024年度	目標値 2029年度	①評価 目標値を基準とした評価	②評価 基準値を基準とした評価	③総合評価
4-1 広域連携による産業振興	1	広域連携による観光PR件数/年	6	6	6	S (100%)	±0	S
4-2 広域連携による生活環境の充実	2	吾妻広域消防本部における職員数 [人/累計]	119	120	125	A (96%)	+(+1)	A+
	3	(再掲) 「新ごみ処理施設」関連事業の協議会等の開催数 [回/年]	-	10	3	S (333%)	+(+10)	S

(2) 評価結果に対する考察、今後の見込み・予定

施策	No.	重要業績指標（KPI）	評価	評価結果の考察	今後の見込み・予定
4-1	1	広域連携による観光PR件数	S	<ul style="list-style-type: none"> 100年先を見据えた「まちづくり」を行ったことにより、どこで写真を取っても映える景色が生まれた。 このことからも、各年代の客層はもちろん、特に若年層が多く訪れる要因となり観光PR件数が増えた 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も新しい施設(天狗山レストハウス)をPRすることで、広域連携するPR件数を増やしていく
4-2	1	吾妻広域消防本部における職員数	A+	<ul style="list-style-type: none"> 吾妻広域圏消防本部による職員の増員確保にかかる計画について、構成町村が承認した1名の増員をはかることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 吾妻広域圏消防本部による職員の増員確保にかかる年次計画について構成町村として支援していく。
	2	(再掲)「新ごみ処理施設」関連事業の協議会等の開催数	S	<ul style="list-style-type: none"> 新ごみ処理施設建設に向け、協議会を構成町村の担当課長会議に名称を変更し課長（所長）会議等を実施した。また、施設整備検討委員会や副町村長会議等も実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新ごみ処理施設の建設に向けた担当課長会議等を、2025年度には本格的に開催予定。

基本目標4

様々な地域と連携した安心・安全なまち

3 「具体的な取組」の評価（定性評価）

(1) 「具体的な取組」の実施状況、今後の展開・改善点

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
4-1	1	広域連携による観光PR	観光	b	<ul style="list-style-type: none"> 各協議会等においては、毎年、事業を行っているが、例年と同様な事業が多いため、この事業だけによる観光客の増加とは言い難い。 「まちづくり」による景色づくりが観光客数の増加の要因 	<ul style="list-style-type: none"> 例年通りの事業ではなく、新しい事業の提案を行いたい。 また、草津温泉ブランドを生かしたモデルプラン等の作成を広域連携で模索し、周遊に繋がる活動を実施して行きたい。 また、吾妻観光連盟の事業においてはHPを新たに作成した。各町村の観光イベントを随時UP出来るので、観光協会と連携しイベント情報をいち早く発信できるので、閲覧回数が伸びることが期待される。
	2	ユネスコエコパークフェア	企画創造	b	<ul style="list-style-type: none"> 2025年9月27日に、志賀高原ユネスコエコパークのエリア拡張がユネスコに承認され長野県山ノ内町全域がユネスコエコパークに登録されたが、草津町の登録されているエリアは主に白根山や本白根山周辺となり、火山規制の関係で長年車両の通行のみとなり周辺の遊歩道も通行禁止とし、観光資源として十分に活用できていないのが現状である。また、ユネスコエコパークのイベントについても年々縮小され、今年度においてはイベントは開催されなかった。ユネスコエコパーク理念や魅力をはじめ、草津町の誘客PRを行う機会はなく、効果を感じることは少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 火山規制の関係で草津町エリア内のユネスコエコパークの理念や魅力、誘客PRを目的としたイベントの開催が難しい現状ではあるが、今後規制緩和となった際はイベントを草津町エリア内で実施することや、草津町独自のイベントについてもユネスコエコパークを通じて周知や、誘客PRに繋げたい。

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
	3	観光人材の広域交流	観光	d	・観光従者の他町村交流事業は実施していない。	・先進的な事例がある地域や成功事例のある地域との交流を進めていきたい。
4-2	1	「吾妻広域町村圏振興整備組合事業」の推進	関係課	—	・以下、4-2-2～4-2-8 参照	・以下、4-2-2～4-2-8 参照
	2	養護老人ホーム措置事業	福祉	a	・環境・経済的理由により自立した生活が困難な高齢者に対して保護措置を決定することにより、健康で文化的な生活を確保することができる。	・当該高齢者の状況に応じて、最適な対応がとれるよう関係機関との連携をより一層強化していく。
	3	介護認定審査会事業	福祉	a	・滞りなく審査会が行われている	・今後も継続して業務委託していく
	4	障害者判定等市町村審査会事業	福祉	a	・町単独では困難な障害認定の審査業務について、広域に委託することで吾妻郡内の町村において公平性が保たれ審査が実施されている。事務の効率化においても実現している。	・継続的に実施。
	5	障害者相談支援業務委託事業	福祉	a	・専門的知識や資格を持った相談支援専門員が必要とされる相談支援事業については、町単独では困難である状況。広域的に相談支援事業を委託することで、郡内町村の障がい者に対し大差ない相談支援体制が整えられている。	・継続的に実施。
	6	西部火葬場運営管理事業の推進	住民	—	・令和8年度中に施設改善予定。	・火葬後の火葬炉周辺及び室内の温度が上昇するため、遺族等に不快感を与える状況が発生する恐れがあることから、令和8年度では空調設備を導入し、快適な状態を提供する予定。 ・また、非常時の対策として、火葬炉非常用発電機と連動した非常灯の設置も令和8年度に実施予定。

基本目標4

様々な地域と連携した安心・安全なまち

施策	No.	取組名	担当課	評価	実施状況	今後の展開・改善点
	7	吾妻広域消防本部における職員数の増員計画	総務	a	・吾妻広域圏消防本部による職員の増員確保にかかる計画について、構成町村が承認した1名の増員をはかることができた。	・吾妻広域圏消防本部による職員の増員確保にかかる年次計画について構成町村として支援していく。
	8	(再掲)「新ごみ処理施設」関連事業			3-2-3 参照	